

# 令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【慈恩寺中学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	スタディサプリ等を活用して基礎・基本的な知識・技能の定着を図る活動に力を入れる。また、授業において基礎・基本的な知識・技能を定着する活動の充実を各教科で図っていく。
思考・判断・表現	ICT機器を効果的に活用し、思考力、判断力、表現力を高める協働学習を教科担当が教科会で検討しながら、工夫して実施していくとともに、生徒の思考力・判断力・表現力を身に付けるための活動の実施や、自らの考えを表現するために練習する機会の設定を検討していく。
主体的に学習に取り組む態度	先を見据えた学習計画や目標を立て、その達成のために生徒一人ひとりが具体的方策を立てられる指導を全校をあげて行っていく。また、資料の提示やICT機器を活用した授業実践を行い、生徒一人ひとりの興味・関心を高め学ぶ意欲を高めていく。

① 目標・策		
	目標	策
知識・技能	令和5年度全国学力・学習状況調査及び令和5年度さいたま市学習状況調査において、前回実施時よりも各教科の「知識・技能」のポイント3ptを向上させる。	⇒ 授業においては単元ごとの小テストや前時の復習に取り組む。またスタディサプリ等を活用した家庭学習を促し、知識・技能の定着を図る。
思考・判断・表現	令和5年度全国学力・学習状況調査及び令和5年度さいたま市学習状況調査において、前回実施時よりも各教科の「思考・判断・表現」のポイントを3pt向上させる。	⇒ 各教科でミライシードのオクリンクやムーブノート等を活用することで、話し合い活動をさらに充実させ、思考・判断・表現力を高める。
主体的に学習に取り組む態度	さいたま市学習状況調査において、前回実施時よりも「家庭学習をしていますか」の質問項目における肯定的な回答の割合を向上させる。	⇒ 各教科で生徒が達成感を味わえるように、資料の提示やICTを活用した授業実践を行う。

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	各教科において、スタディサプリを活用して基礎・基本的な知識・技能の定着を図る活動に力を入れることができたことが学校評価から明らかになっている。しかし市学習状況調査の結果から、知識・技能の平均点が各教科とも市平均を下回っており、基礎・基本的な知識・技能を定着する活動の充実に課題が残ったと考えられる。	C
思考・判断・表現	ICT機器を効果的に活用し、思考力、判断力、表現力を高める協働学習を教科担当が教科会で検討しながら、工夫して実施していくことができたことが学校評価から明らかになっている。しかし、市学習状況調査の結果、思考力・判断力・表現力の項目では各教科とも市平均を下回っており、生徒の実態に即した活動の見直しが必要であると考えられる。	C
主体的に学習に取り組む態度	さいたま市学習状況調査における質問項目「家で計画的に勉強していますか」について、肯定的な回答の割合を増やすことができた。今後は学習事項を定着させる必要がある。	B

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	現在、スタディサプリの家庭での活用が定着しつつあるため、家庭学習の習慣化をさらに進め基礎学力の定着を図る。また、ICT機器を効果的に活用した授業実践を校内で研究しており、次のさいたま市学習状況調査の結果を踏まえてさらなる工夫・改善につとめていく。
思考・判断・表現	今回のテストで無解答率が高かった問題が「根拠を用いて考えることができるか、説明することができるか」であった。まずは教科の授業においてICT機器等を活用しながら、興味関心を引き立てる導入、生徒が論理的に考えることができる展開、学んだことを自分の力で相手に伝えるように表現する終末という授業展開を図っていく。
主体的に学習に取り組む態度	家庭学習の状況については、全国と比較して未だ差があることが現状である。今年度はさらにスタディサプリ等を活用し家庭学習の習慣化を図っており、ほとんどの生徒が期日内に取り組むようになり、学習に向かう姿勢が変わった。また、自主的にスタディサプリを活用して復習をする生徒も増加してきた。

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
- ②詳細分析(学年・教科担当)
- ③分析共有(児童生徒の実態把握)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析	
※令和5年度のさいたま市学習状況調査結果は参考値扱いとなります。	
中1	昨年度結果よりも、数値を向上させることができたが、全体的に市平均を下回っており、「知識・技能」を問う問題の無解答率が高いため、さらにスタディサプリ等を活用した家庭学習の習慣化を進め、基礎学力の定着を図る。
中2	数学では昨年度よりも「知識・技能」において大きく数値を向上させることができたが、無解答率についても高かった。今後さらにスタディサプリ等を活用した家庭学習の習慣化を進め、基礎学力の定着を図る。
中3	質問項目「家で自分で計画を立てて勉強していますか」について、肯定的な回答の割合は75%であった。また「学校の授業時間以外に、普段1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか」について、他学年より肯定的な意見の割合が高い結果であり、主体的に学習に取り組む様子が見られるようになった。

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
	目標	策
知識・技能	変更なし	⇒ 変更なし
思考・判断・表現	変更なし	⇒ 変更なし
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒ 変更なし